

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和8年5月調査)

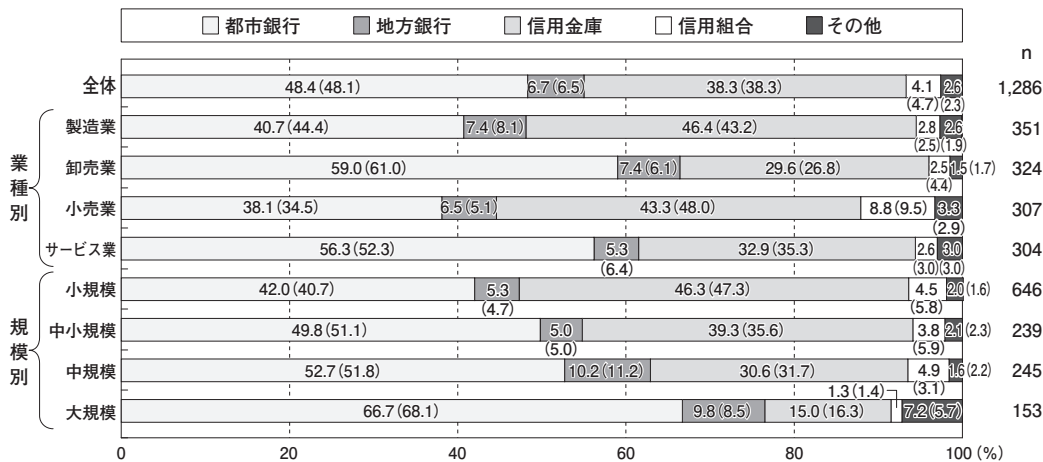
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が48.4%（前回調査48.1%）と最も高く、「信用金庫」が38.3%（同38.3%）、「地方銀行」が6.7%（同6.5%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「都市銀行」の59.0%（同61.0%）、製造業は「信用金庫」の46.4%（同43.2%）、小売業は「信用組合」の8.8%（同9.5%）がそれぞれ高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は66.7%（同68.1%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

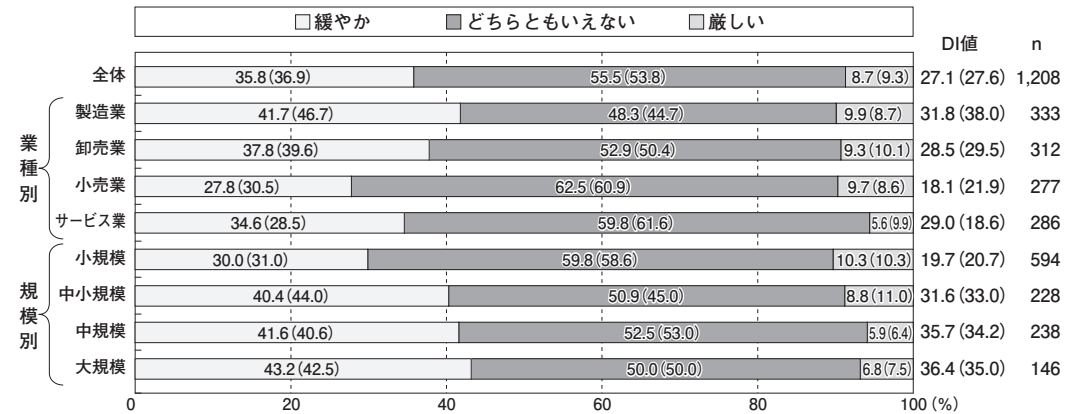
2. 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」 - 「厳しい」）で見ると、全体では27.1（前回調査27.6）となり、前回調査と比べて0.5ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業31.8（同38.0）は6.2ポイント減少、小売業18.1（同21.9）は3.8ポイント減少した。一方、サービス業29.0（同18.6）は10.4ポイント増加した。

規模別にDI値をみると、中小規模31.6（同33.0）は1.4ポイント減少、小規模19.7（同20.7）は1.0ポイント減少した。

図表2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

3. 主な取引金融機関からの借入金利

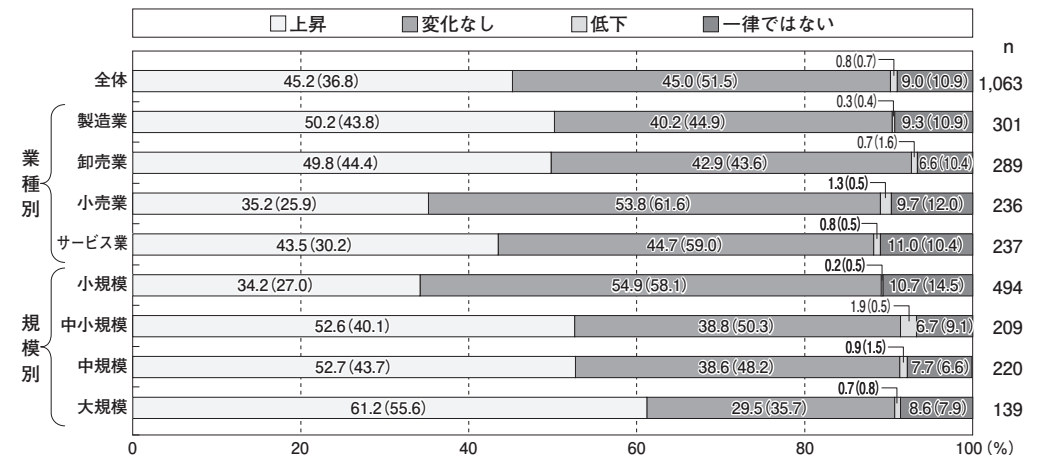
(1) 金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「上昇」が45.2%（前回調査36.8%）と最も高く、「変化なし」が45.0%（同51.5%）、「低下」が0.8%（同0.7%）の順で続いた。

業種別にみると、全ての業種で「上昇」が高くなり、製造業は50.2%（同43.8%）と5割を超える。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「上昇」が高くなり、大規模は61.2%（同55.6%）となった。

図表3 金利傾向



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

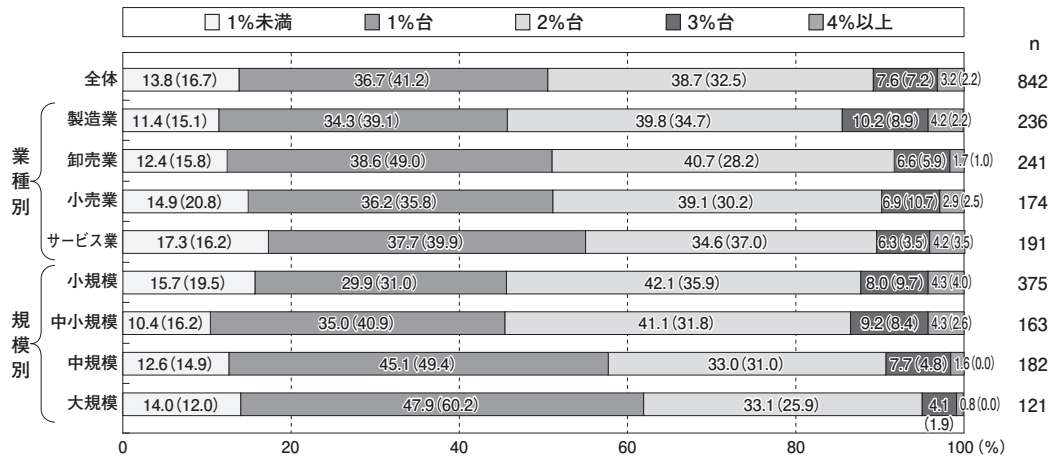
(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「2%台」が38.7%（前回調査32.5%）と最も高く、「1%台」が36.7%（同41.2%）、「1%未満」が13.8%（同16.7%）の順で続いた。

業種別にみると、2%以上の割合は製造業が54.2%（同45.8%）と5割を超える。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「1%台」が高くなり、大規模は47.9%（同60.2%）となった。

図表4 金利水準



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。3年超5年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

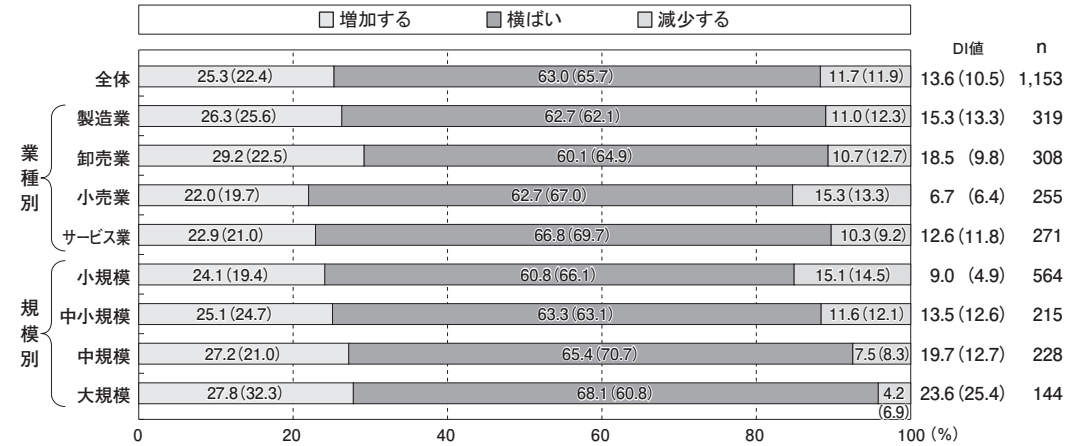
(1) 今後3か月間の資金需要

今後3か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では13.6（前回調査10.5）となり、前回調査と比べて3.1ポイント増加した。

業種別にDI値をみると、全ての業種で増加し、卸売業18.5（同9.8）は8.7ポイント増加、製造業15.3（同13.3）は2.0ポイント増加した。

規模別にDI値をみると、中規模19.7（同12.7）は7.0ポイント増加、小規模9.0（同4.9）は4.1ポイント増加した。一方、大規模23.6（同25.4）は1.8ポイント減少した。

図表5 資金需要（今後3か月間）

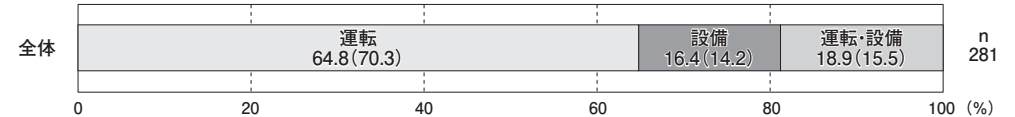


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が64.8%（前回調査70.3%）と最も高く、「運転・設備」が18.9%（同15.5%）、「設備」が16.4%（同14.2%）の順となった。前回調査と比べて「運転」は5.5ポイント減少し、「運転・設備」は3.4ポイント増加した。

図表6 資金使途

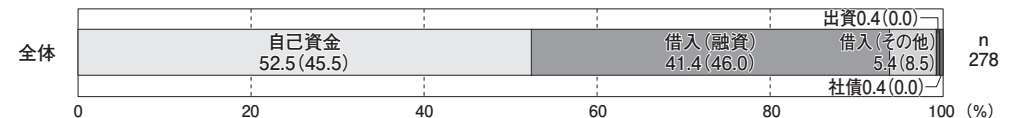


注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「自己資金」が52.5%（前回調査45.5%）と最も高く、次いで「借入(融資)」が41.4%（同46.0%）となった。前回調査と比べて「自己資金」は7.0ポイント増加し、「借入(融資)」は4.6ポイント減少した。

図表7 調達手段



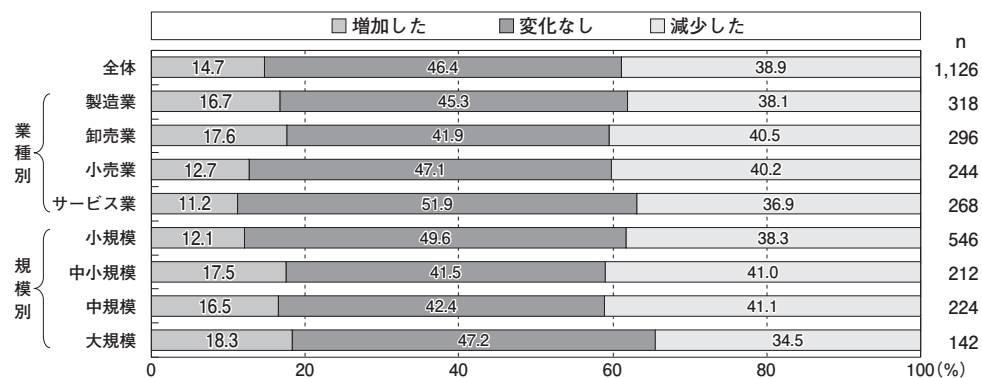
注) 資金需要(今後3か月間)(図表5)で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。()内は前回調査(令和7年11月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が46.4%と最も高く、「減少した」が38.9%、「増加した」が14.7%の順となった。業種別にみると、他の業種に比べて卸売業の「増加した」は17.6%と高い。規模別にみると、小規模は「変化なし」が49.6%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

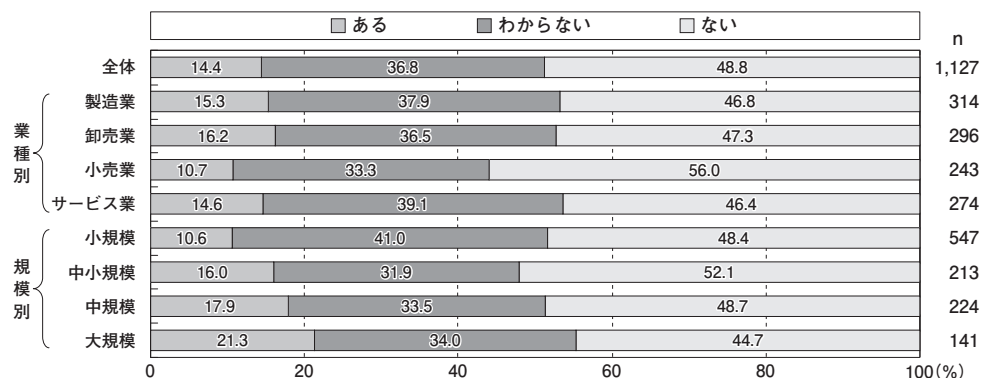
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が48.8%と最も高く、「わからない」が36.8%、「ある」が14.4%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「ある」の16.2%、小売業は「ない」の56.0%が高い。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模の「ある」は21.3%と高い。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。